



編集・発行

大阪狭山市ボランティアセンター
大阪狭山市今熊1丁目85番地
TEL 072-367-6601
FAX 072-366-7407

ボランティアだより第100号発行記念におけた 「ハートフルボランティアフォトコンテスト」開催!

次号のボランティアだより第100号発行を記念して、みなさんの撮影したボランティアに関する素敵な写真を募集します。

テーマは「ハートフルなボランティア」です。あなたの撮影した、ボランティア活動中の様子の写真や、ボランティアの温かさを感じる写真、ボランティア仲間等の写真を応募してみませんか。最優秀賞に選ばれた作品はボランティアだより第100号（令和2年10月1日発行予定）の一面の写真として発表します！また各種賞も用意しておりますので、奮ってご応募ください。



テーマ

「ハートフルなボランティア」※過去に撮影した写真でもご応募いただけます。

申込方法

プリントアウトした写真又は写真データファイルを窓口へ持参、郵送、メール等で提出してお申し込みください。（お一人様1点のみ）
作品には、「作品名」「コメント」と応募者の住所、氏名、ペンネーム（任意）、年齢、連絡先を添えて下記へお申し込みください。

申込締切

令和2年7月27日（月）※必着

審査について

ボランティアだより編集委員での審査会（8月下旬予定）および、インターネット又は市内公共施設での公開投票（8月中旬予定）で入賞作品を決定いたします。
審査内容についてはお答えできかねますので予めご了承ください。
入賞者へは、ささやかなプレゼントを用意しております。また、ボランティアだより掲載前に最終確認の連絡を差し上げます。

応募・問い合わせ先

〒589-0021 大阪狭山市今熊1-85
大阪狭山市社会福祉協議会
ボランティアセンター フォトコンテスト係
電話：072-367-6601
メール：sayama@bf.wakwak.com



スマホで撮影したものでもOK!

《応募要項》

ご応募の際には下記のすべてに同意したものとします。

- ① 応募作品の著作権は、撮影者（応募者）に帰属します。ただし、主催者は応募作品を無償で審査や広報のために使用する権利を有するものとします。
- ② 応募作品は未発表又は発表予定のないものとします。
- ③ 応募作品は、主催者が催す審査会や広報物（ボランティアだより）やホームページなどで使用することがあります。使用にあたっては撮影者の氏名又はペンネームの表示を行います。
- ④ 応募作品は半年間を限度に、主催者がお預かりして、審査や広報活動などに使用し、使用期間満了後、撮影者（応募者）に返却します。応募作品の返却希望者は、返信用封筒に切手を貼ったものを同封して応募してください。
- ⑤ 主催者は応募作品を第三者に貸与することはありません。
- ⑥ 人物を主題にした作品の場合は被写体となる人物に了解を得てご応募ください。
- ⑦ 他人の著作物を撮影し、それを素材にして加工や合成をしますと、著作権の侵害にあたる場合がありますので注意してください。



大阪狭山の「い〜ばしょ」みっけ!

2月11日(祝)、市立公民館で大阪狭山市ボランティアグループ連絡会主催の公開講座「大阪狭山の「い〜ばしょ」みっけ!」が開催されました。

今回の研修会は、大阪狭山市内で様々な「居場所づくり」を行う4つの団体がそれぞれ特色のある取り組みを発表してくれました。

※今回、発表いただいたのは下記の4団体です。(発表順)

- ①UPっぶ朝食堂ボランティア 三谷 瑞江氏「UPっぶ朝食堂」
- ②NPO法人 南大阪サポートネット 浜治 弘子氏「To-villa (トビラ)」
- ③NPO法人 ワークレッシュ 和久 貴子氏「おむすび村」
- ④大阪狭山市熟年いきいき事業実行委員会 中谷 勝計氏「大阪狭山市熟年大学」

また、後半は「い〜ばしょ共有ワークショップ」として、参加者30名のそれぞれが知っている居場所・集いの場のほか、「こんなことできる場があればいいのにな〜」という想いを旗状のメモに情報を書き込み、大阪狭山市のマップ上に落とし込んで共有していきました。

熱心にメモを取る方や、楽しく想いを語る方が、ワークショップを通じて今後の活動のつながりを模索する場面も見られ、参加者それぞれにとっての「い〜ばしょ(居場所)」について改めて考えるきっかけになったようでした。

※この研修会のワークショップでまとめた内容は大阪狭山市ボランティアグループ連絡会のFacebookページでも公開しております。ぜひご覧ください。



車いすでGo!

1月18日(土)、ボランティア体験講座「車いすでGO!」を大阪府立狭山高等学校にて開催し、高校生30名の参加がありました。

当日は、ボランティア活動に関する基礎的なオリエンテーションに始まり、日常で車いすを使っておられる「ほっこり仲間の会」から3名の方にお越しいただき、普段どんなことで困っているのか、どんな声かけがあれば助かるのか等、体験談を踏まえた事例を共有しながら、学びを深めました。

その後、実際に車いすに乗って学校周辺の施設やスーパーに向かいお買い物をし、フィールドワークを行いました。学生からは「普段何気なく通っている道でも、段差、坂、幅などの関係によって凄く危険な道になるのだと感じた」、「坂を下るとき特に不安だ感じたので、介助者との信頼関係が大事

だと思った」等の感想があり、実体験を通じて気づきや学びを得ることができました。

《ほっこり仲間の会の辻さんよりメッセージ》

普段の暮らしの中で、不便なことや理不尽に感じるいろいろなことありますが、人のさりげない優しさや気遣いに嬉しくなることも多いものです。まずは障がい者のことを知っていただくところに参加していただき感謝します。

今回、当事者として講座に参加させていただき、学生さんには車いす目線での体験をしてもらいました。その中で若いチカラの可能性と気配り、思いやり、心遣いを感じることが出来て本当に嬉しかったです。学生さんの明るい笑顔に元気をいただきました。この講座を準備くださった皆さまにも感謝いたします。ありがとうございました!



「ボランティア活動保険」に加入しましたか?

ボランティア活動中の方が一事故に備えていただく保険です。活動中の事故による傷害補償や、賠償責任補償があり、加入していると安心してボランティア活動に取り組むことができます。

●年間保険料(1名につき1プランの加入のみ)

Aプラン 300円 Bプラン 500円 Cプラン 600円(天災補償あり)

●例えばこのような事故に備えて…

- ・介護ボランティア中に障がい者の車椅子の操作を誤り、転倒させて怪我を負わせてしまった…
- ・清掃ボランティア中、落ちていた空き缶で手を切り、怪我をした 等

●補償期間: 加入日の翌日から加入年度末まで

※他にも、行事中の事故等を補償する「ボランティア行事保険」や、非営利の有償活動を補償する「非営利・有償活動団体保険」、移送サービス実施中の事故に備えた「移送中事故傷害保険」があります。

※加入申し込みや補償内容の詳細についてのお問い合わせは、大阪狭山市ボランティアセンターまでお願いします。

ほのぼのメモ

今回の「ほのぼのメモ」はボランティアだより編集委員が体験したほのぼのするエピソードを紹介します。

私はベビーカーを押す家族連れを見ると、思い出すことがあります。それは三年ほど前のことです。

ある日、電車に乗っていると、ベビーカーを押した若い夫婦が乗車してきました。

ベビーカーを見ると可愛い男の子が、何やら赤ちゃん言葉で喋りをしています。私にこっとすると、その赤ちゃんもこっと微笑んでくれました。ご夫婦を見ると、まるで雑誌から出てきたようなすごく素敵なお二人で、私は見とれていました。すると、突然二人は手話を始めたのです。思わず「わあっ」と心の中で叫びました。周りを気にせず、微笑みながら楽しそうにお話をしていました。

このお二人にとっては障がいなんて関係なく、きっと幸せなんだろうなぁと感動しました。障がいがあってもなくても本人の気持ち次第で幸せになれる…と、なんだかほんわかとした温かい気分になりました。

しばらくしてそのご家族が電車を降りる時、赤ちゃんが私に「バイバイ」と手を振ってくれたので、嬉しくて私も「バイバイ」と手を振りました。

ご夫婦は私の方を見て笑顔で軽く会釈をされました。後ろ姿を見送りながら、赤ちゃんに、大きくなったらパパとママを助けてあげてね、と思いました。

〈鳥山〉



ボランティア豆知識

～ワンちゃんと一緒に癒しを届けるボランティア～



みなさんは「ドッグセラピー」を知っていますか？ドッグセラピーとは、動物を介在させた治療療法であるアニマルセラピーの一種で、犬と触れ合ったり、一緒に遊んだりすることで、安心感や癒しを得たり、前向きな意欲の向上に繋がるとして、療養目的や教育等でも取り入れられている活動です。

大阪狭山市ボランティアセンターに登録しているグループ「ドッグセラピーアンジュ」さんも、高齢者福祉施設の訪問を中心にして対象者が心身ともに癒され活力とされることを目的に活動しています。メンバーは愛犬家ばかりで、ワンちゃんと一緒に楽しみながら社会貢献をしています。興味がある人はお問合せください。

新型コロナウイルスの関係でストレスやモヤモヤが溜まりやすいこの頃…。外出もなかなか辛い時期ですが、テレビやインターネットなどでワンちゃんを見て、心を癒し、気持ちを落ち着かせる時間も大切かもしれませんね。

(文章協力:ドッグセラピーアンジュ)

編集後記

新緑がまぶしい気持ちのよい季節になりましたが、世の中は新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、個人もあらゆる団体もこの難局を乗り越えようと知恵を出し合っ
て懸命に努力をしています。
まだまだ感染対策が必要な期間が続くそうなので、マスクの着用、手洗い、うがい、三密を避けて行動し、自分なりの目標を立て、健康に気を付けて頑張りましょう。

〈楠田〉



Instagramで活動の様子を発信中！「ドッグセラピーアンジュ」で検索！